

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】令和 3 年 4 月 22 日 (2021.4.22)

【公表番号】特表 2020-510701 (P2020-510701A)

【公表日】令和 2 年 4 月 9 日 (2020.4.9)

【年通号数】公開・登録公報 2020-014

【出願番号】特願 2019-571114 (P2019-571114)

【国際特許分類】

A 6 1 K 31/7004 (2006.01)

A 6 1 K 9/06 (2006.01)

A 6 1 K 47/34 (2017.01)

A 6 1 K 47/36 (2006.01)

A 6 1 K 47/42 (2017.01)

A 6 1 K 47/38 (2006.01)

A 6 1 K 47/32 (2006.01)

A 6 1 K 31/565 (2006.01)

A 6 1 P 17/02 (2006.01)

A 6 1 P 17/14 (2006.01)

【F I】

A 6 1 K 31/7004

A 6 1 K 9/06

A 6 1 K 47/34

A 6 1 K 47/36

A 6 1 K 47/42

A 6 1 K 47/38

A 6 1 K 47/32

A 6 1 K 31/565

A 6 1 P 17/02

A 6 1 P 17/14

【手続補正書】

【提出日】令和 3 年 3 月 4 日 (2021.3.4)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

創傷治癒を促進するのに使用される D - デオキシリボース糖であって、前記糖が、担体内に用意され、前記担体が、生体適合性マトリックス材料またはヒドロゲルである、D - デオキシリボース糖。

【請求項 2】

前記 D - デオキシリボースが、2 - デオキシリボースである、請求項 1 に記載の使用用の D - デオキシリボース糖。

【請求項 3】

前記担体が生分解性担体である、請求項 1 または 2 に記載の使用用の D - デオキシリボース糖。

【請求項 4】

前記マトリックス材料が、電界紡糸された足場である、請求項 1 ～ 3 のいずれか一項に記載の使用用の D - デオキシリボース糖。

【請求項 5】

前記電界紡糸された足場が、ポリ乳酸 (P L A)、ポリグリコリド (P G A)、ポリ (乳酸 - c o - グリコール酸) (P L G A)、またはポリ (3 - ヒドロキシブチラート - c o - 3 - ヒドロキシバレラート) P H B V の少なくとも 1 つを含む、請求項 4 に記載の使用用の D - デオキシリボース糖。

【請求項 6】

前記ヒドロゲルが、架橋ヒドロゲルである、請求項 1 または 2 に記載の使用用の D - デオキシリボース糖。

【請求項 7】

前記ヒドロゲルが、キトサン、ゼラチン、アルギナート、アガロース、メチルセルロース、ヒアルロン酸、またはそれらのあらゆる組合せの少なくとも 1 つを含む、請求項 1 または 6 に記載の使用用の D - デオキシリボース糖。

【請求項 8】

前記ヒドロゲルが、キトサンおよびコラーゲンを含む、請求項 7 に記載の使用用の D - デオキシリボース糖。

【請求項 9】

前記ヒドロゲルが、ポリビニルアルコール、ポリアクリル酸ナトリウム、アクリラートポリマー、またはそれらのあらゆる組合せを含む、請求項 7 または 8 に記載の使用用の D - デオキシリボース糖。

【請求項 10】

前記ヒドロゲルが、キトサンおよびポリビニルアルコールを含む、請求項 6 ～ 9 のいずれか一項に記載の使用用の D - デオキシリボース糖。

【請求項 11】

前記担体が、抗菌剤をさらに含む、請求項 1 ～ 10 のいずれか一項に記載の使用用の D - デオキシリボース糖。

【請求項 12】

前記創傷が慢性創傷である、請求項 1 ～ 11 のいずれか一項に記載の使用用の D - デオキシリボース糖。

【請求項 13】

前記創傷が全層創傷である、請求項 1 ～ 12 のいずれか一項に記載の使用用の D - デオキシリボース糖。

【請求項 14】

前記創傷が火傷である、請求項 1 ～ 13 のいずれか一項に記載の使用用の D - デオキシリボース糖。

【請求項 15】

D - デオキシリボース糖を含む生体適合性マトリックス材料。

【請求項 16】

前記マトリックス材料が、電界紡糸された足場である、請求項 15 に記載の生体適合性マトリックス材料。

【請求項 17】

前記電界紡糸された足場が、ポリ乳酸 (P L A)、ポリグリコリド (P G A)、ポリ (乳酸 - c o - グリコール酸) (P L G A)、またはポリ (3 - ヒドロキシブチラート - c o - 3 - ヒドロキシバレラート) P H B V の少なくとも 1 つを含む、請求項 17 に記載の生体適合性マトリックス材料。

【請求項 18】

D - デオキシリボース糖を含むヒドロゲル。

【請求項 19】

前記ヒドロゲルが、キトサン、ゼラチン、アルギナート、アガロース、メチルセルロー

ス、ヒアルロナン、またはそれらのあらゆる組合せの少なくとも１つを含む、請求項１８に記載のヒドロゲル。

【請求項２０】

前記ヒドロゲルが、キトサンおよびコラーゲンを含む、請求項１８または１９に記載のヒドロゲル。

【請求項２１】

前記ヒドロゲルが、ポリビニルアルコール、ポリアクリル酸ナトリウム、アクリレートポリマー、またはそれらのあらゆる組合せを含む、請求項１８～２０のいずれか一項に記載のヒドロゲル。

【請求項２２】

前記ヒドロゲルが、キトサンおよびポリビニルアルコールを含む、請求項１８～２１のいずれか一項に記載のヒドロゲル。

【請求項２３】

創傷治癒の促進に使用され、または脱毛症の処置に使用される、請求項１５～１７のいずれか一項に記載の生体適合性材料。

【請求項２４】

創傷治癒の促進に使用され、または脱毛症の処置に使用される、請求項１８～２２のいずれか一項に記載のヒドロゲル。

【請求項２５】

創傷床において血管化を増大させ、または誘導する方法に使用される、請求項１５～１７のいずれか一項に記載の生体適合性材料。

【請求項２６】

創傷床において血管新生を増大させ、または誘導する方法に使用される、請求項１８～２２のいずれか一項に記載のヒドロゲル。

【請求項２７】

脱毛症の処置に使用されるＤ－デオキシリボース糖であって、前記糖が、担体内に用意され、前記担体が、生体適合性マトリックス材料またはヒドロゲルである、Ｄ－デオキシリボース糖。

【請求項２８】

前記Ｄ－デオキシリボースが、２－デオキシリボースである、請求項２７に記載の使用用のＤ－デオキシリボース糖。

【請求項２９】

前記担体が生分解性担体である、請求項２７または２８に記載の使用用のＤ－デオキシリボース糖。

【請求項３０】

前記マトリックス材料が、電界紡糸された足場である、請求項２７～２９のいずれか一項に記載の使用用のＤ－デオキシリボース糖。

【請求項３１】

前記電界紡糸された足場が、ポリ乳酸（ＰＬＡ）、ポリグリコリド（ＰＧＡ）、ポリ（乳酸－ｃｏ－グリコール酸）（ＰＬＧＡ）、またはポリ（３－ヒドロキシブチレート－ｃｏ－３－ヒドロキシバレレート）ＰＨＢＶの少なくとも１つを含む、請求項３０に記載の使用用のＤ－デオキシリボース糖。

【請求項３２】

前記ヒドロゲルが架橋ヒドロゲルである、請求項２７または２８に記載の使用用のＤ－デオキシリボース糖。

【請求項３３】

前記ヒドロゲルが、キトサン、ゼラチン、アルギナート、アガロース、メチルセルロース、ヒアルロナン、またはそれらのあらゆる組合せの少なくとも１つを含む、請求項２７または３２に記載の使用用のＤ－デオキシリボース糖。

【請求項３４】

前記ヒドロゲルが、キトサンおよびコラーゲンを含む、請求項 33 に記載の使用用の D - デオキシリボース糖。

【請求項 35】

前記ヒドロゲルが、ポリビニルアルコール、ポリアクリル酸ナトリウム、アクリレートポリマー、またはそれらのあらゆる組合せを含む、請求項 33 または 34 に記載の使用用の D - デオキシリボース糖。

【請求項 36】

前記ヒドロゲルが、キトサンおよびポリビニルアルコールを含む、請求項 32 ~ 35 のいずれか一項に記載の使用用の D - デオキシリボース糖。

【請求項 37】

前記担体が抗菌剤をさらに含む、請求項 27 ~ 36 のいずれか一項に記載の使用用の D - デオキシリボース糖。

【請求項 38】

毛の再生を促進する非治療的方法であって、前記方法が、D - デオキシリボース糖の投与を含み、前記糖が、担体内に用意され、前記担体が、生体適合性マトリックス材料またはヒドロゲルである、方法。

【請求項 39】

前記 D - デオキシリボースが、2 - デオキシリボースである、請求項 38 に記載の毛の再生を促進する非治療的方法。

【請求項 40】

前記担体が生分解性担体である、請求項 38 または 39 に記載の毛の再生を促進する非治療的方法。

【請求項 41】

前記マトリックス材料が、電界紡糸された足場である、請求項 38 ~ 40 のいずれか一項に記載の毛の再生を促進する非治療的方法。

【請求項 42】

前記電界紡糸された足場が、ポリ乳酸 (PLA)、ポリグリコリド (PGA)、ポリ (乳酸 - co - グリコール酸) (PLGA)、またはポリ (3 - ヒドロキシブチレート - co - 3 - ヒドロキシバレレート) PHBV の少なくとも 1 つを含む、請求項 41 に記載の毛の再生を促進する非治療的方法。

【請求項 43】

前記ヒドロゲルが架橋ヒドロゲルである、請求項 41 または 42 に記載の毛の再生を促進する非治療的方法。

【請求項 44】

前記ヒドロゲルが、キトサン、ゼラチン、アルギナート、アガロース、メチルセルロース、ヒアルロナン、またはそれらのあらゆる組合せの少なくとも 1 つを含む、請求項 38 または 43 に記載の毛の再生を促進する非治療的方法。

【請求項 45】

前記ヒドロゲルが、キトサンおよびコラーゲンを含む、請求項 44 に記載の毛の再生を促進する非治療的方法。

【請求項 46】

前記ヒドロゲルが、ポリビニルアルコール、ポリアクリル酸ナトリウム、アクリレートポリマー、またはそれらのあらゆる組合せを含む、請求項 44 または 45 に記載の毛の再生を促進する非治療的方法。

【請求項 47】

前記ヒドロゲルが、キトサンおよびポリビニルアルコールを含む、請求項 43 ~ 47 のいずれか一項に記載の毛の再生を促進する非治療的方法。

【請求項 48】

前記担体が抗菌剤をさらに含む、請求項 38 ~ 47 のいずれか一項に記載の使用用の D - デオキシリボース糖。

【請求項 49】

請求項 15 ～ 17 のいずれか一項に記載の生体適合性マトリックス材料を含む創傷包帯。

【請求項 50】

請求項 18 ～ 22 のいずれか一項に記載のヒドロゲルを含む創傷包帯。